

しんぜつずふ
唇舌図譜

作者不明 江戸時代

医の基本は望・聞・問・切！

東洋医学における診察は、身体の表面上の状態を見る「望」、患者が発する音や臭いを判断する「聞」、患者に症状などを詳しく質問する「問」、患者の体に直接ふれる「切」という4つの方法を基本とします。本書は、痘瘡（とうそう、天然痘）にかかった人の唇と舌の特徴を図で表したもので、病気の進度を判断するのに使われていたと考えられます。

Lip and Tongue Figures

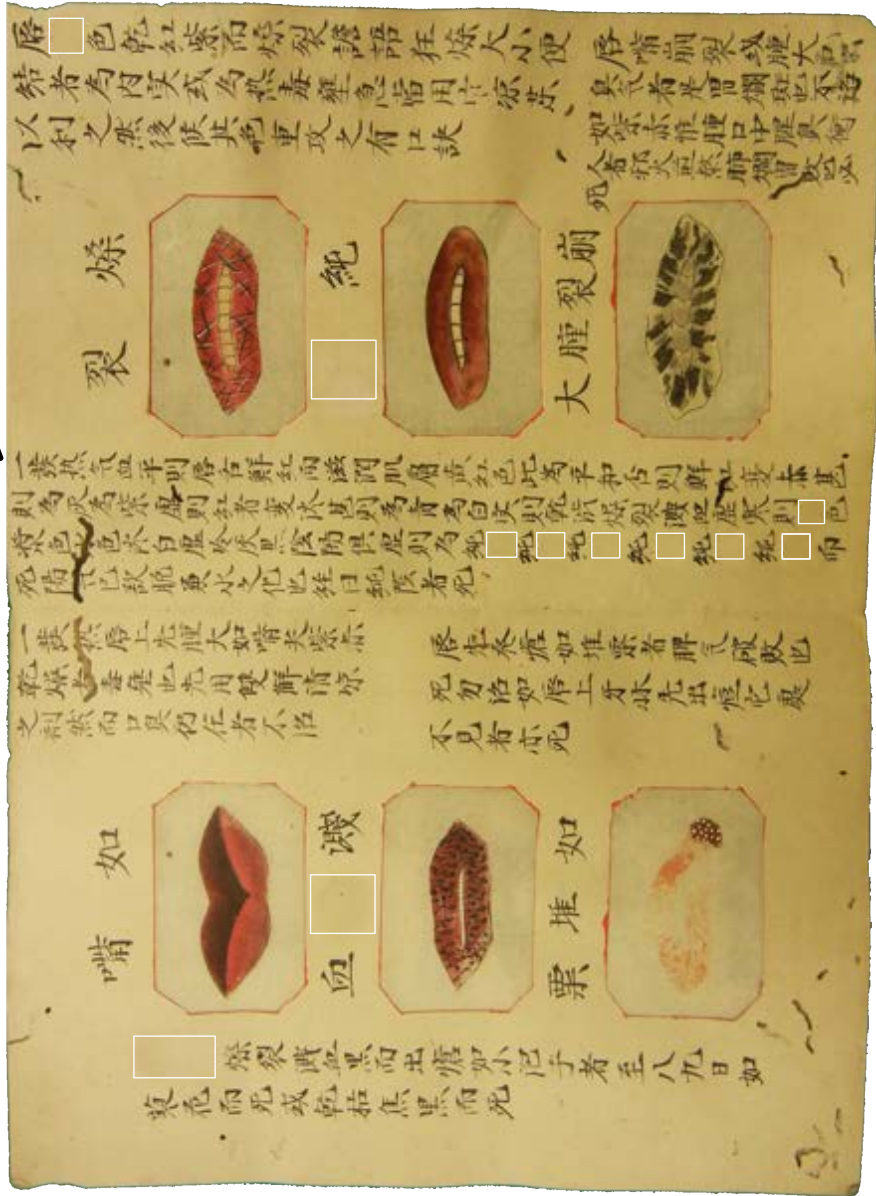
Oriental medical examinations are carried out in four primary ways: namely checking the body with sight, touch, sound and smell, and asking patients about symptoms. This book illustrates symptoms which appear on the lip and tongue of patients with smallpox. The book is said to have been used in order to judge the progress of the disease.





唇舌図譜(しんぜつずふ) 作者不明、江戸時代

医の基本は望・聞・問・切!



唇には、色をあらわす漢字が入ります。
 譜(しん)にん(ぜ)つ(ず)ふ(い)よう!

☆カラフルな唇と舌!なぜ??
 ⇒昔から世界中で人類が闘ってきた病氣、痘瘡(とうそう)の症状が唇と舌にでたもの。病気の進度を判断できます。

ちなみに今ではワクチンで痘瘡を予防できるよ!

☆いったいいくつかの唇舌図が載っているの?
 ⇒唇は42図、舌は19図です。

☆お医者さんの四つの基本!

①望 体の状態を見る

②聞 患者さんが発する音や臭いを判断する

③問 患者さんに症状を質問する

④切 患者さんの体に触れる(脈拍をはかる等)